

先人顕彰拠点施設の運営（指定管理者制度）について

生涯学習課

【概要】

1. 指定管理者に求めるもの

民間ノウハウの活用によるサービス向上と経費縮減
→指定管理者制度（包括的な管理運営）
「効率」「安定」「継続」

2. 指定管理者決定までの手順

公募（原則）

→特定者指定・・・地域住民の参画がある

- ・地域住民の参画を積極的に求める施設
- ・地域の振興のため、地域との結びつきが強い施設

①市→地域自治区運営協議会

地域で指定管理者を検討していただくよう依頼（R5.9）

②地域自治区運営協議会→市

地域の検討結果による団体を推薦

③市は地域の提案を受け、団体と基本協定内容を協議

④市議会で指定管理者の承認

3. 基本事項

一つの指定管理者が一括して管理・・・管理形態の分かりやすさ
安全管理と情報管理

①管理施設 旧岩村振興事務所1階 1467.31㎡

敷地内（駐車場、花壇等）

②管理物 施設と物品

③期間 5年間を予定

- ・指定管理料の金額と支払時期は協定で定める。（例：半期、4半期）
- ・指定管理者は市の承諾を受けて業務の一部を第三者に実施させることができる。
- ・市は展示資料及び備品を無償で貸与する。
- ・施設改修は1件〇万円以上のものは市が実施する。
- ・利用料金は指定管理者の収入とする。
- ・利用料金は指定管理者が条例の規定の範囲内で定める。
- ・指定管理者は自己の責任と費用で自主事業を実施することができる。

4. 指定管理者の業務内容

(管理運営業務仕様書に定めるもの)

記念館の運営に関すること

- ① 記念館の展示運営（展示品、解説パネル、映像、図書等）
- ② 記念館の企画展の企画と実施
- ③ 展示方法と展示環境の維持
- ④ 講話の受け入れと実施
- ⑤ 講演会や講座、ワークショップの企画と実施
- ⑥ 収蔵品の保管、貸し出し・借り受け
- ⑦ ボランティアの養成、支援組織（守る会）の会員獲得
- ⑧ 入館者の受付、入館料・講話料等の徴収
- ⑨ 入館者に対する案内や説明
- ⑩ ミュージアムショップの販売業務、商品管理
- ⑪ 電話等問い合わせ・クレーム対応、団体予約受付
- ⑫ 展示や講話、企画展の広報活動（チラシ、ウェブサイト、SNSなど）
- ⑬ 視察の受け入れ対応
- ⑭ 自主事業の企画と実施（キャンペーン、イベント）
- ⑮ 営業活動（教育機関、企業、メディアなどへの誘客活動）
- ⑯ 講話講師の養成

1 階の運営に関すること（記念館以外の部分）

- ⑰ 入館者に対する総合案内（施設情報、岩村情報、恵那市情報の案内、各種問い合わせ・クレーム対応）
- ⑱ ライブラリー運営（図書の整理、案内、貸し出し対応、部屋の管理）
- ⑲ 展示ギャラリーの運営（企画展の企画と実施）
- ⑳ 休憩スペースの管理（案内、清掃）
- ㉑ 観光情報ラウンジの運営（ディスプレイ企画、来館者への案内・問い合わせ対応、展示物の管理、店舗等との調整）
- ㉒ 屋外テラスの管理（案内、清掃）
- ㉓ 施設周辺の管理（花壇手入れ、駐車場管理）
- ㉔ 自主事業の企画と実施（キャンペーン、イベント）

施設・設備管理に関すること

- ㉕ 建築物の保守管理（天井、壁、床など）、利用者の安全な利用の確保
- ㉖ 設備の保守管理（照明、空調、自動ドア、映像機器、排煙設備、給排水設

備など) 利用者の安全な利用の確保

- ⑳清掃(トイレ、窓、床、テーブル・椅子、カウンター、施設周辺(花壇、駐車場)など)
- ㉑開館業務・閉館業務(鍵の管理、設備の運転開始と停止操作)
- ㉒防犯、防火。事件・事故発生時の対応
- ㉓病人やけが人発生時の対応
- ㉔備品類の管理
- ㉕施設修繕、設備修繕への対応(負担額の設定あり)
- ㉖施設ホームページの管理と更新
- ㉗消耗品の管理、購入
- ㉘指定管理部分の設備・機器類の保守契約と点検(券売機、レジ、複合機など)
- ㉙会計処理、経理事務
- ㉚独立した会計帳簿の整備と管理。独立した口座の開設と管理

市との手続きに関すること

- ㉛事業計画書、収支予算書の作成
- ㉜事業報告書の作成と提出(月ごと、四半期ごと、年度ごとの事業報告)
- ㉝アンケート調査の実施

5. 経費に関すること

(管理運営業務仕様書に定めるもの)

- ・指定管理料は、指定管理者の請求に基づき支払う。管理運営上必要な経費は前金払いとし、支払時期や額は協定で定める。
- ・指定管理者は自身の団体等と独立した会計帳簿類を備える。指定管理業務に伴う経費の出納については、団体自身の口座とは別の口座で管理する。

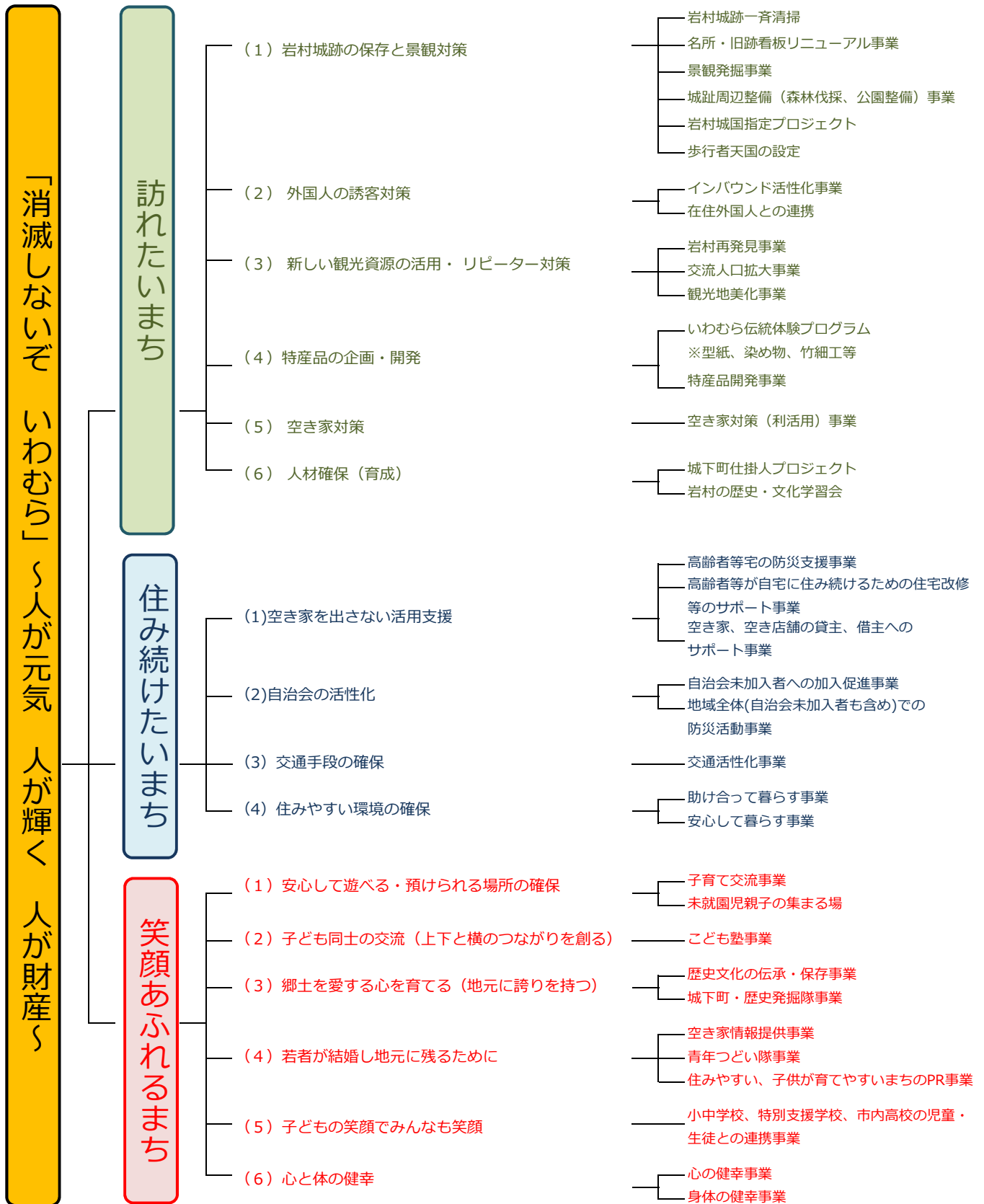
6. 市との手続き関係

- ・協定内容の協議と締結
- ・事業報告(指定管理者)
 - ①管理の実施状況、利用状況 ②収入実績 ③収支状況 ④自主事業の実施状況
- ・モニタリングの実施(市)
 - ①実施体制 ②管理運営 ③収支等

指定管理料の算定例

収入	支出
入館料	建物管理費
講話料	光熱水費
グッズ・書籍販売売り上げ	消防設備保守料
研修料	空調設備保守料
年会費	エレベーター保守料
広告料	自動ドア保守料
	貯水槽清掃及び水質検査業務
	自家用電気工作物保安管理料
	セキュリティ・警備委託料
	清掃業務委託料
	インターネット利用料
	NHK 受信料
	事業費
	人件費（管理人）
	講話講師謝礼
	映像・展示設備保守料
	講座開催費
	広告宣伝費
	消耗品費
	印刷費
	修繕料（展示に係るもの）
	リース料（機器）
	保険料
	郵便料
	電話料（記念館回線）
	備品購入費
	商品仕入費
	租税公課費
	図書購入費
収入合計 A	支出合計 B
指定管理料	$B - A$

岩村地域自治区総合計画施策体系図及び行動計画



岩村地域自治区地域行動計画 【柱名：訪れたいまち】

NO	区分	事業No	事業名	主体となる団体 (実施団体は複数可)	実施内容	成果	成果	課題
2	岩村城跡の保存と景観対策	1-1	岩村城跡一斉清掃	城下町ホットいわむら城を守る会 城再建実行委員会 恵那市	・城趾周辺（石垣等）の清掃、補修	・年2回城跡一斉清掃を行い150名程度の参加。岩邑中や恵那特別支援学校の生徒なども参加。 ・名古屋林業土木協会付知、中津川、坂下支部と名古屋造林素材生産事業協会東農支部の方が、毎年「山の日」に合わせ清掃作業	○	・清掃作業時期及び回数。 R元年以前 5月上旬 7月下旬 R2年 6月上旬 9月上旬 ※上記以外に「山の日」ボランティア8月上旬
		1-2	名所・旧跡看板リニューアル事業	城下町ホットいわむら観光協会岩村支部 恵那市	・多くの名所・旧跡の看板が老朽化対策と字も読めない看板等のリニューアル	・城址に関しては県事業によりリニューアル。 ・岩村駅前看板も改良された。 ・ 岐阜未来遺産事業により検討開始	△	・周辺の案内看板が一部老朽化。 ・岩村城址や歴史資料館への分かりやすい案内看板
		1-3	景観発掘事業	城下町ホットいわむら観光協会岩村支部 恵那市 坂道倶楽部	・「日本一高い山城」の発信と「霧ヶ城」の写真を募集し、ポスター作成	・「日本一高い山城」の発信は、Webサイト、SNS、テレビ放送等でPRはされている。 ・ Instagramを活用し坂道倶楽部フォト	△	・写真募集によるポスター作製。
		1-4	花木の保護・管理事業	城下町ホットいわむら観光協会岩村支部 各種団体	・町内の桜や花の名所の保護・管理	・農村景観日本一を守る会による桜植樹地の管理	△	・町内の花の名所及び管理団体等が整理できていない。
		1-5	城趾周辺整備（森林伐採、公園整備）事業	観光協会岩村支部 恵那市	・森林（保安林）伐採による景観整備 ・針葉樹から広葉樹への植え替え ・私有地対策や城発掘など調査	・本丸手前の国有林を買収・伐採したことにより景観はよくなった。R1にはライトアップも行った。 ・H31.4月に岩村城跡保存整備基本構想が岩村城跡保存整備基本構想検討委員会により策定された。 ・ 8年後に国指定申請予定	△	・今後は広葉樹の植栽が必要 ・ もう少しモミを伐採しても良いのでは
		1-6	岩村城国指定プロジェクト	城を守る会 城再建実行委員会 恵那市			△	・城址敷地の私有地問題
		1-7	路駐禁止デー、通行止め日の設定	観光協会岩村支部 恵那市恵南商工会 岩村町商店会	・岩村本通りを月一程度で通行止めにし、「歩行者天国」として利活用	NHK連続テレビ小説「半分、青い。」を契機に「ふくろうまつり」を開催しているが、通行止めまでには至っていない。	×	・イベント時の通行止めへの理解は浸透してきているが、通行止めまでには至っていない。
6	外国人の誘客対策	2-1	インバウンド活性化事業	観光協会岩村支部 恵那市 グランドデザイン部会	・インバウンド集客を得意とする旅行会社との連携や外国語表示看板の設置	・ 岐阜未来遺産により検討開始	△	
		2-2	知名度アッププロジェクト	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 岩村コミュニティセンター	・外国語版SNS・ホームページ運営 ・外国人向け体験ツアーの企画 ・外国人対応の会話学習	・外国人観光客向けHPとパンフレットは作成。 ・ 岐阜未来遺産により検討開始	△	・外国人向け体験ツアーの企画 ・外国人対応の会話学習の実施
		2-3	在住外国人ボランティア募集	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら	・町内在住の外国人にボランティアとして登録してもらう仕組みの構築		×	・未着手
		2-4	免税店化事業	観光協会岩村支部 恵那市恵南商工会 岩村町商店会	・町内の商店等を免税店化して、外国人に有利な環境を整備する		×	・未着手

岩村地域自治区地域行動計画 【柱名：訪れたいまち】

NO	区分	事業No	事業名	主体となる団体 (実施団体は複数可)	実施内容	成果	成果	課題
1	新しい観光資源の活用/リピーター対策	4-1	交流人口拡大事業 ※ひなまつりイベント	城下町ホットいわむら 観光協会岩村支部 恵那市恵南商工会 各種団体	・交流人口の拡大を図るため、認知度の上ってきた「ひなまつり」を継続して展開する	・「ひなまつり」「おかげまつり」を毎年開催したことにより、交流人口増に繋がった。 (観光動態調査参照)	○	・交流人口の更なる増加 ・見直し計画に掲げた「関係人口」増加のための取り組み
		4-2	観光地美化事業	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 各種団体	・花や桜または花桃の植樹により町全体を花の町にする	・農村景観日本一を守る会による桜植樹地の管理など一部団体や個人的に花桃や花しょうぶなどの植栽管理が行われている。	△	・選定箇所が決まっていない。観光客が見やすい、行きやすい場所の選定。 ・植栽及び植栽後の管理体制整備。 ・花苗や花木等の支給事業が活用されていない。
		4-3	「ときどき岩村人会」 設立	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 岩村コミュニティセンター 恵那市	・岩村好きでまちづくりにも参画できる人材を確保して組織化する ・町外の会員が、岩村に居るときは様々な特典を付与する		×	・未着手
3		3-1	ディスカバーIWAMURA プロジェクト	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 岩村コミュニティセンター 恵那市	・ディスカバー（発見する） IWAMURA隊を発足し、岩村の魅力の再発見や定期的な会議の開催等によりPR方法や企業化を検討する ・町内と市内の商店や企業を連携させ、新しい町内や広域的な観光ルートを探る	・体験プログラム団体「いわむら五っこ」を設立し昔ながらの染め物体験や伝統工芸に加えサンキャッチャー、ハーバリウムなど子供や女性にも人気のコンテンツを作り新たな観光資源を作った。	△×	・IWAMURA隊の発足。
		3-2	新観光資源パンフレット作成事業	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら	・新しい観光資源を加えた、観光パンフレットの作成	・「半分、青い。」効果等により、新たなパンフレットができた。 ・追加	△	・新たな観光資源の発掘。
4	特産品の企画・開発	5-1	「いわむらスイーツ」 対策プロジェクト	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 恵那市恵南商工会 岩村町商店会	・いわむらスイーツとして、新たな特産品の開発 ・いわむらスイーツ商店連盟の発足 ・パンフレット作成発行		×	・未着手
		5-2	いわむら伝統体験プログラム ※型紙、染め物、竹細工等	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 恵那市恵南商工会 岩村町商店会	・いわむら伝統を伝える「体験プログラム」を実施する	・「いわむら五っこ」を設立し伝統工芸だけでなくレザー加工、サンキャッチャー、ハーバリウムなどの女性が好むようなコンテンツも出来た。 ・岐阜未来遺産により展開することが可能となった。	○	・効果的なPR方法、利用者の増加。
		5-3	観光農園事業（農産物 特産品事業）	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 各地区営農組合等	・岩村町で穫れる果物の観光農園を整備する（いちご・ぶどう・柿・栗・りんご・なし・とうもろこし等々） ・既存農園の再発信	・豊楽園、善ちゃんファームなど個人的に観光農園にとどまっている。	×	・農園経営者にも会議等に参加していただき、詳細を詰めていく必要あり ※岐阜未来遺産で参加型、体験型ツールとして推進したい
		5-4	ブランド化事業	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 各地区営農組合 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 町内関連事業所	・岩村町で穫れる物を共有してスイーツ等の特産品を考案する ※農業の第6次産業化		×	・未着手

岩村地域自治区地域行動計画 【柱名：訪れたいまち】

NO	区分	事業No	事業名	主体となる団体 (実施団体は複数可)	実施内容	成果	成果	課題
5	空き家対策	6-4	空き家対策（利活用）事業	城下町ホットいわむら NPOでんでんけん (株) え〜ないわむら 岩村城下まちなみ保存会 自治連合会 恵那市	・空き家を宿泊施設やテナント、イベント時のブースとして利活用を図る	・ふくろう市場、やましろや、あたらや、ふくろう休憩所、Hyakkei、ちょっとふるいもん屋、マサチロ雑貨店など空き家対策できた物件あり。 ・ 岩村空き家対策委員会設置	△	・空き家を利活用を促進するための体制づくり ・特定空き家の増加
		6-2	空き家実態調査事業	城下町ホットいわむら NPOでんでんけん (株) え〜ないわむら 恵那市	・空き家の実態調査を実施し、提供できる物件はデータベース化する ・外部への情報発信や斡旋を行う	・恵那市くらしビジネスサポートでデータベース化は行われている。	△	・岩村地域として空き家実態調査を行う主体が明確になっていない。
		6-3	空き家バンクプロジェクト	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 各地区営農組合等 町内関連事業所（不動産） 金融機関 恵那市	・重伝建事業補助の継続と推進 ・空き家、空き店舗情報の集約化と問合せ窓口の設置	・重伝建地区については岩村城下まちなみ保存会を中心に事業が継続されている。	△	・市の空き家バンク事業と岩村地域が効果的に連携していくための仕組みづくり
		6-4	サブリース事業	城下町ホットいわむら NPOでんでんけん (株) え〜ないわむら 町内関連事業所	・民間企業が中心になり、空き家をサブリースする		×	・未着手
7	人材確保（育成）	7-1	岩村営業部事業	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら せんしょ隊 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 各地区営農組合等 町内関連事業所	・せんしょ隊や営業マンを軸とした観光案内人の育成 ・活動内容を明確にし、組織的に営業展開を図る	・観光ガイドによる観光案内 ・観光ガイド養成講座の開催（R2.8～11）	△	・活動内容の具体化 ・ 取組が右肩下がり
		7-2	城下町仕掛人プロジェクト	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら せんしょ隊 恵那市恵南商工会 岩村町商店会 各地区営農組合等 町内関連事業所 小・中学校 岩村コミュニティセンター	・小、中、高生によるまちづくりを展開する ・「どこからおいでんさった」（声かけ）運動の再展開 ・地元岩村を勉強する機会の創出	・地域学校協働活動の一環で岩邑中学校生徒による「岩村城下町盛り上げ隊」が結成され、岩村城下おかげまつりで活躍。また、恵那南高校の生徒や恵那特別支援学校の生徒も同様に活躍。 ・岩邑小学校児童が言志祭を通じたまちづくりで活躍。	○	地域学校協働活動の今後の進め方
		7-3	岩村の歴史・文化学習会	観光協会岩村支部 城下町ホットいわむら NPO一斎塾 岩村コミュニティセンター 恵那市	・岩村の歴史、文化、名所、旧跡の知識を高めるための学習会を実施する	・R2. 8月より観光ガイド養成講座を開催（28名の応募） ・毎年、三学塾での学習会を開催 ・ 小中学校では先人学習等積極的に取り組んでいる。教員も名所、旧跡などをめぐる勉強会を開催している	○	・若年層の参加促進

岩村地域自治区地域行動計画（案）【柱名：住み続けたいまち】

NO	区分	事業No	事業名	主体となる団体 (実施団体は複数可)	実施内容	成果	成果	課題等
1	近くでの仕事確保	1-1	仕事・店舗斡旋事業	行政、ホットいわむら	①30分程度の通勤範囲に職場を創る(企業を誘致する) ②空き屋を活用した起業や店舗への活動がしやすい援助制度を設ける ③ホットだよりに「求人票」を載せる(有償)		×	・未着手
2	街中に一定の商店(経営が成り立つ)	2-1	商店活性化事業	商工会 商店会 観光協会	①街中の住人が徒歩で買い物に行ける商店の確保 ②観光客にも寄ってもらえる魅力ある商店 ③閉店された商店の再利用(コンビニ)	・ふくろう祭りを開催し活性化を図った。	△	・ふくろう市場が閉店で歩いて買い物に行ける店の減 ・住民ニーズ等の把握とそのニーズに対応できる商店
		2-2	三万石いわむら復活事業 ※区分：職人のまちも含む	民間 (株)え〜ないわむら 行政(空き家バンク)	①空き屋などを利用し商売をしたい人を募る	・あたらや、Hyakkeiなど町外からきて出店、いろどりベース、Wcoffee Iwamura、おまかせ後藤、燻製工房源、RIVERBED COFFEE IWAMURA等		・事業主体が不明確
		2-3	いわむら城下おかげまつり事業	城下町ホットいわむら	①いわむら城下おかげまつりの開催	・毎年開催。	○	・スタッフの不足
3	職人の町	3-1	職人の技見直し事業	でんでんけん、城下町ホットいわむら	①昔の職人の技の継承 その職人の暮らしが成り立つようにする ②職人技の体験ができるような場所を創る ③職人の技体験ワークショップを開催する(大工・左官・豆腐屋など)	・いわむら五っこのプログラムの中に大工、左官の体験プログラムができた。	○	・職人の技の継承等が未実施
		3-2	歴史・文化の伝承・保存	城下町ホットいわむらのういち会 小・中学校	①米づくり体験 ②郷土料理(朴葉寿司、五平餅) ③体験ワークショップ ④景観保存事業	・いわっこクラブにも協力をいただき、ホットな田んぼを開催し、その米を五平餅にして食べ農業に関心を持ってもらった。 ・のういち会による展望台付近の桜保全、管理	○	・未着手事業の推進
4	自治会の活性化(自主防災隊・福祉委員)	4-1	自治会活性化事業	自治連合会	①自治会組織の加入者を増やす ②単位自治会の合併	・自治連合会の会議等を通じて自治会への加入PR ・加入アンケートの実施 ・準自治会へ出向き説明を行った。	×	・新興住宅地などの未加入者に対する加入促進
		4-2	地域防災力の向上事業	自治連 自主防災隊	①防災訓練 ②見守り、自主防災で地域の助けを進める	・毎年、防災訓練を行っている。 ・令和4年防災計画改定 ・避難者行動要支援者名簿の取組み開始 ・防災訓練で図上訓練を実施するよう指導	○	・防災訓練内容の見直し(有事の際に対応できる内容) ・安心カードの更新がされていない自治会が多数見受けられた。
5	助け合い、お互い様の心	5-1	助け合ってくらす事業	自治会 城下町ホットいわむら(せんしょ隊)	①独居の人でも誘い合える場所を確保(近所) ②地域の人たちの交流の場、近所づくり ③(せんしょ隊による)声かけ ④弱者(子ども、障がい者)の安全について地域で目を光らせる	・社会福祉協議会が主体となって独り暮らし交流会「いっしょにいてまい会」を開催 ・青少年育成委員、交通安全協会などの協力で地域弱者の安全に心がけた。 ・新たなサロンが設置された。	△	・社協岩村支部、岩村民協、福祉委員、日赤岩村支部、岩村ボラ連などが主体となって活動しているが、地域自治区との関わりが薄い。

岩村地域自治区地域行動計画（案）【柱名：住み続けたいまち】

NO	区分	事業No	事業名	主体となる団体 (実施団体は複数可)	実施内容	成果	成果	課題等
6	最後まで自宅で住み続けられるために	6-1	安心してらせる事業	自治会	①人とのつながりがあれば一度岩村から離れても帰ってこれる ②年をとっても地域の活動に参加	各地区の自治会活動、自治連合会行事の開催	△	<ul style="list-style-type: none"> 自治会行事が減少傾向にあり、人と人とのつながりが希薄化している。 自治会運営に限界がある自治会が増えてきた。
7	空き家対策事業	7-1	住宅改修事業	行政 城下町ホットいわむら 観光協会	①住宅改修費を助成（住みやすいよう改修費を助成） ②移住相談員を設ける	<ul style="list-style-type: none"> 移住者については恵那市空き家バンク活用支援補助金がある。 市の制度で高齢者向け住宅改修補助、木造住宅耐震改修補助などの制度がある。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 移住相談員が未設置 地域と恵那市くらしサポートセンターの連携
		7-2	空き屋対策事業	城下町ホットいわむら でんでんけん (株) え〜ないわむら	①移住・定住 ②相談窓口を広く設ける（商工会、観光協会など） ③空き屋を活用した起業	尾道空き家再生プロジェクト視察（H30年度） <ul style="list-style-type: none"> いわむら空き家対策委員会が設置され「地域サポーター」の募集を開始した。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 恵那市くらしサポートセンターが、相談窓口になっているが、岩村地域での相談窓口が未設置
8	交通手段の確保	8-1	交通活性化事業	行政	①地域で使いやすい交通手段を検討 ②福祉バスのコンパクト化の検討	<ul style="list-style-type: none"> H30からデマンドバスを開始した。 	△	<ul style="list-style-type: none"> 利用数が伸びないため、周囲への認知・バス停の増設などの対応が必要となる。 現在のシステムでは限界があり、地域内の交通手段を検討する必要がある。

岩村地域自治区地域行動計画（案）【柱名：子どもの笑顔あふれるまち】

NO	区分	事業No	事業名	主体となる団体 (実施団体は複数可)	実施内容	成果	成果	課題
1	安心して遊べる・預けられる場所の確保	1-1	子育て交流事業	子育て経験者 資格のある人が主となって 行ける団体 関わる人の質の向上した人の 団体 いわっこクラブサポーター 等 学童クラブ	①岩邑小学校の空教室などを利用した学童保育 ②大学生ボランティアでスポーツ指導	・夏季休暇中のみ岩邑小学校での学童保育実績あり ・小学校は空き部屋がないため、獅子舞会館、いきがい会館の2箇所学童保育が行われているため、環境の改善が課題。	△	②?
		1-2	こども広場整備事業	城下町ホットいわむら	①山・川など子供の遊べる場所を選定し整備する ②草刈り、木の伐採など行い危険のないように整備する	・公園整備を要望したが、協議が整わず見送りとなった。	×	①②未着手
2	子ども同士の交流（上下と横のつながりを創る）	2-1	こども塾事業	城下町ホットいわむら いわっこクラブ いわむら体験プログラム実行委員会	①子供同士の交流（遠足・キャンプなど） ②地域住民と子供の交流 ③体験事業「いわむら五っこ」 ④子ども作品展	・イベントを通じて地域住民と子供の交流の場を作った。 ・岩邑小学校の「土曜授業」として、「いわむら五っこ」を実施。	○	・補助事業からの自立
3	郷土を愛する心を育てる（地元を誇りを持つ）	3-1	歴史文化の伝承・保存事業	城下町ホットいわむらの ういち会 小・中学校 一斎塾 各文化保存会 岩村城女太鼓	①体験事業「田んぼ」 ②郷土料理 ③史跡めぐり ④偉人を学ぶ ⑤パンフレットの作成	・ホットな田んぼの開催。 ・岩邑小でのふるさと学習（言志祭の群読）など ・岩邑中の温故知新活動	○	・地域学校協働活動としての位置付け。
		3-2	城下町・歴史発掘隊事業	城下町ホットいわむら 市民三学地域塾 一斎塾 顕彰会 文化振興会	資料館に眠っている資料の再整理	・生涯学習課と岩村歴史資料館所蔵の資料等を確認 ・旧岩村振興事務所の利活用について、市長に歴史資料の展示等を含め提言 ・令和8年に歴史資料館を旧振興事務所に移転することとなった。	△	
4	若者が結婚し地元に残るために	4-1	空き家情報提供事業	地域自治区	①若者の定住を促すために低家賃での住居提供 ②空き住居の情報提供 ③入居者への家賃減額、補助など	・恵那くらしビジネスサポートセンターからの情報提供のみ	×	・岩村地域自治区として未着手
		4-2	青年つどい隊事業	地域自治区 商工会青年部 ホットいわむら	①地元の産業の見直しと各自営業者の体験談 ②コンサルタントによる経営アドバイス ③企業誘致		×	・未着手

募集人数

1名

業務概要

メインパートナーである恵那市観光協会岩村支部のメンバーと密に連携をとりながら、まずは下記の地域課題とチャレンジしたいことに考慮して取り組んでいただきます。隊員自らの将来設計や起業の準備についても、段階や提案、活動事業計画を作成しながら随時行っていただきます。

○まずは、地域・観光プログラム「NEXT GIFU HERITAGE～岐阜未来遺産～」の第1号に認定された岩村の資源地域と今までの取り組みを知り、その中でもインバウンド推進に関する伸びしろと課題をみつけながら隊員本人の適正及び関係者ミーティングにより下記のいずれかの活動事業に軸を置き取り組んでいただきます。

(1)古民家(町屋)改修計画における運営補助(改修後は宿泊施設や飲食施設を予定)

(2)インバウンド観光コンテンツの磨き上げ

- ・レンタルサイクルや既存のコンテンツをブラッシュアップ
- ・継続的な観光PR(SNS発信や観光イベントに参加等)

(3)観光マーケティングの推進

- ・既存データの整理、分析、現状把握
- ・デジタル的な手法を用いた観光マーケティングの導入を推進し(DX化)

応募条件

この募集は「地域おこし協力隊」制度を活用するため、次の条件を全て満たす人が対象です

- (1) 3大都市圏内または指定都市など(過疎、山村、離島、半島などの地域に該当しない市町村)に住民票がある人
- (2) 2024年4月1日現在、18歳以上である人
- (3) 心身ともに健康で、地域のために誠実に活動ができる人
- (4) 協力隊活動終了後、本市に定住定着をする意向を持っている人
- (5) 普通自動車運転免許を取得している人(採用までに取得見込も含む)
- (6) 自らの活動について社会人としての責任を持ち、積極的なコミュニケーションと発信ができる人
- (7) PC及びWord・Excel・PowerPointなどの基本的な操作ができる人
- (8) 可能な限り、おためし地域おこし協力隊やインターン期間をとって現地で確認ができる方

雇用関係の有無

なし

※恵那市長が地域おこし協力隊員として委嘱します。

※恵那市地域おこし協力隊設置要綱、仕様書に基づき業務委託契約を行います

契約期間

委嘱日から 2025年3月31日まで

※1年毎の契約更新で、最長3年まで。

※委嘱日はご相談に応じます。

※更新の有無は市による事業評価により決定いたします

※市が協力隊としてふさわしくないと判断した場合は、任用期間中であっても解嘱できるものとします。

業務時間

原則として1ヶ月当たり135時間、1カ月あたり20日を目安に活動していただきます。ただし、業務内容等により活動時間の調整をすることができるものとします。

活動場所

- ・恵那市内および岩村地域(ただし、研修等により市外へ出張する場合あり)
- ・事務スペースやデスクは市や地域関係者が提供する場所を、一定のルールに基づき使用してください

教総第 1988 号
令和 5 年 12 月 28 日

岩村地域自治区運営協議会
会長 原田 英明 様

恵那市教育委員会 教育総務課

岩村大将陣教員住宅について

日頃は、教育行政にご理解を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、令和 5 年 6 月 22 日付、岩村大将陣教員住宅について下記のとおり回答
します。

記

1. 回 答

ご要望の（一社）恵那市観光協会への譲渡につきまして、「市有財産の有効活用に関する基本方針の公共施設の処分（移管）等に関する指針」により、（一社）恵那市観光協会への譲渡は土地・建物ともに有償譲渡となりますので、ご理解いただくと共に、改めて活用についてご検討いただけると幸いです。

2. 有償譲渡価格（参考）

	土地	建物
面積	1,367.15 m ²	139.11 m ² /棟
評価額	8,192,899 円	2,466,184 円/棟
評価額合計	13,125,267 円	

※実際の譲渡価格は鑑定価格となります。

連絡先

恵那市教育委員会 教育総務課	
住 所	509-7292 恵那市長島町正家 1-1-1
T E L	(0573)26-2111 (内 465)
F A X	(0573)26-2189

恵那市の出生数等の状況について

企 画 課

1. 出生数の状況

(単位：人)

	H30	R1	R2	R3	R4					R5		
					4-12月	1月	小計	2-3月	合計	4-12月	1月	合計
大井町	105	84	92	78	71	4	75	12	87	49	10	59
長島町	60	59	48	48	47	6	53	7	60	28	4	32
東野	21	9	10	6	7	1	8	1	9	1	0	1
三郷町	13	7	6	7	6	2	8	1	9	3	1	4
武並町	19	12	12	11	8	1	9	2	11	6	0	6
笠置町	4	5	4	2	2	0	2	0	2	2	0	2
中野方町	8	4	7	8	3	4	7	0	7	3	0	3
飯地町	5	1	1	4	1	1	2	0	2	1	0	1
岩村町	31	27	24	23	9	4	13	5	18	13	0	13
山岡町	18	12	11	11	6	0	6	1	7	6	2	8
明智町	13	17	17	8	11	0	11	6	17	2	0	2
串原	3	2	0	1	1	0	1	0	1	1	1	2
上矢作町	5	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	305	241	235	210	172	23	195	35	230	115	18	133

※上記人数は外国人を含む。

出典：市民課

2. 人口と高齢化率の状況

(単位：人、世帯、%)

	H19	H29	R4	R6. 2. 1	H29比	高齢化率	高齢化率	高齢化率
						H30	R4	R6. 1. 30
大井町	13,696	13,275	12,799	12,655	△620	28.00	30.06	30.07
長島町	10,243	9,525	9,310	9,133	△392	28.67	30.02	30.77
東野	1,834	1,717	1,641	1,623	△94	32.41	35.95	36.22
三郷町	2,676	2,413	2,255	2,219	△194	36.90	40.04	41.14
武並町	3,359	3,130	2,980	2,961	△169	32.44	32.71	33.06
笠置町	1,534	1,262	1,143	1,124	△138	41.22	44.61	44.66
中野方町	1,834	1,582	1,439	1,407	△175	40.70	43.57	43.56
飯地町	807	639	571	553	△86	45.76	45.35	44.66
岩村町	5,540	5,022	4,650	4,583	△439	33.81	34.81	35.04
山岡町	5,178	4,358	3,866	3,730	△628	38.94	42.16	43.32
明智町	6,496	5,401	4,832	4,640	△761	41.18	43.72	44.50
串原	931	790	690	663	△127	48.38	50.14	49.92
上矢作町	2,522	1,934	1,599	1,484	△450	47.54	52.78	54.24
合計	56,650	51,048	47,775	46,775	△4,273	33.82	35.70	36.09
世帯数	18,897	19,634	19,897	19,965	331	-	-	-

※人口は住民基本台帳人口・高齢化率（各年10.1現在）で外国人を含む。

出典：市民課、高齢福祉課

3. 小学校入学児童数の状況

(単位：人)

	R1	R2	R3	R4	R5
児童数	430	377	348	346	306

※学校基本調査（各年5.1現在）

出典：学校教育課

岩村町観光アンケート集計結果

岩村町観光アンケート集計結果												
集計日 2月15日												
アンケート回答者数 6												
1.年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明				
	0	1	1	1	1	2	0	0				
2.性別	女性	男性	不明									
	2	4	0									
3.誰と	家族	友人	同僚	観光ツアー	おひとり	その他	不明					
	4	0	0	0	1	0	1					
4.何人で	1人	2人	3人	4人	その他	不明						
	1	1	1	1	0	2						
5.どこから	市内	県内	北海道東北	関東	中部	関西	中国	四国	九州沖縄	その他	不明	
	0	0	0	2	7	0	0	0	0	0	0	
6.何で	自家用車	バイク	観光バス	タクシー	鉄道	自転車	その他	不明				
	6	0	0	0	0	0	0	0				
7.何回目	初めて	2回目	3回目	4回目以上	不明							
	2	1	2	1	0							
8.何泊で	日帰り	1泊	2泊	3泊以上	不明							
	6	0	0	0	0							
9.情報源	テレビ	ラジオ	新聞雑誌	インターネット	知人友人	その他	不明	/////観光協会/いろいろ				
	2	0	0	1	1	2	0					
10.目的	岩村城下町	岩村城	農村景観	食事	土産物	その他	不明					
	6	2	1	1	0	0	0					
11.欲しいもの	宿泊施設	温泉施設	食事処	土産物屋	その他	不明	木村邸にガイドがいました。他の施設にもいるとありがた					
	0	3	1	1	0	1						
12.前立寄り	ない	ある	不明	大正村								
	5	1	0									
13.後立寄り	ない	ある	不明	川上屋/明知鉄道/明智								
	3	3	0									
14.城下町	5	4	3	2	1	行っていない	不明					
	4	0	1	0	0	0	1					
15.岩村城	5	4	3	2	1	行っていない	不明					
	2	2	0	0	0	1	1					
16.農村景観	5	4	3	2	1	行っていない	不明					
	1	3	0	0	0	1	1					
17.食事	5	4	3	2	1	食べてない	不明					
	2	1	1	0	0	1	1					
18.土産物	5	4	3	2	1	買ってない	不明					
	0	2	1	0	0	2	1					
19.宿泊	5	4	3	2	1	泊っていない	不明					
	0	0	1	0	0	3	2	/////				
20.案内看板	5	4	3	2	1	不明						
	1	1	3	0	0	1						
21.駐車場	5	4	3	2	1	不明						
	3	1	1	0	0	0						
22.体験	ガイド付きで見て回りたい											
23.感想	十分楽しめた。20代なのになつかしさがあってとてもよかった。また行きたいと思った											

3) 公共施設の電話設備更新に伴う新しい電話番号について

施設	現行電話番号	新付与電話番号
岩邑小学校	0573-43-2515	0573-26-6875
岩村中学校	0573-43-2544	0573-26-6881
岩村コミュニティセンター	0573-43-3722	0573-26-6925
岩村振興事務所	0573-43-2111	0573-26-6860
小栗 龍夫		080-9419-2795
山辺 孝夫		070-1511-4930
吉村 理恵		070-1512-7766
近藤 明浩		080-9420-0981
原田 義巳		080-7954-2128
保母 和彦		080-7010-8315

※原則時間外は繋がりません。

4) 小中学校資源回収終了について

令和5年度をもって終了、城下町クリーンステーション等資源回収場所まで持っていけない方の対応をどうするか。

5) ふるさと納税額について

令和2年 67件 1,445千円
 令和3年 76件 2,474千円
 令和4年 136件 1,816千円
 令和5年 165件 2,460千円(1月末現在)

6) 機能別消防団員申込状況について

2月27日現在 13名

7) まちづくり懇談会の開催について

1. 日時 5月23日(木) 午前9時～午前11時20分
2. 主催 岩村地域自治区運営協議会
3. 内容
 - (1) 懇談会 地域の代表者や地域住民とのまちづくりの意見交換
 - (2) 方法 懇談会や視察、補助金を活用した地域のまちづくり活動の紹介など、内容や進め方等は地域の意向に基づいて実施。
 - (3) その他 地域計画に基づき地域が主体で実施する事業箇所及び4つの政策の柱である「はたらく・たべる・くらす・まなぶ」の主要事業箇所等を視察なども実施可能です。